



地域の皆様の支えもあり、こうして無事に10周年を迎えられたこと、改めて御礼申し上げます。これからの10年は、今まで以上に本格的な超高齢者社会が到来している事と思います。そこでのリハビリテーションの必要性は今まで以上に高まり、われわれの果たすべき責務も重大であると考えています。引き続きコロナとの共存も考えていかなくてはなりません。コロナでコミュニケーションのあり方が大きく変わったように、こうした状況を変革の機会と前向きにとらえ、過去やしがらみにとらわれず、横浜、横須賀、鎌倉など三浦半島を中心とした地域に根差したリハビリテーションを通じた医療をスタッフ一同提供していく所存ですので、今年もどうぞよろしく申し上げます。



この度患者様のご厚意でピアノを譲り受けることになりました。ご厚意に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。コロナの状況がよくなりましたら、患者様や地域の皆様に向けたコンサートなどに活用したいと考えています。またリハビリの一環としてのピアノの使用や、ストリートピアノとしての開放も検討しております。※ストリートピアノ(英: street piano)とは街中・街角などの公共の場所に設置された誰でも自由に弾ける状態のピアノの通称で、昨今最新のコミュニケーションツールとして注目されています。

頼り頼られる病院

1. 良質なリハビリテーションの提供で在宅復帰と生活の質向上を支援します。
2. 専門職によるチーム医療の提供で満足度の高い医療提供を行います。
3. 地域に開かれ、地域に支えられる存在になるように努めます。
4. 職員が誇りと責任を持って働ける職場づくりを行います。

広報誌「あとリ」2023. 3 vol.05

発行：横浜なみきリハビリテーション病院

編集：広報委員会

〒236-0005

神奈川県横浜市金沢区並木2丁目8番1号

TEL. 045-788-0031 FAX. 045-788-0032

ATORI アトリ

March 2023 Volume 05

横浜なみき

リハビリテーション病院

広報誌

10周年の
「これまで」と「これから」

受け継がれるもの

当院の前身は、1986年に開院した屏風ヶ浦病院（磯子区森）で、当時は167床の総合病院でしたが、現在の金沢区並木の小学校跡地に移転し、おかげさまをもちまして2022年9月で10周年を迎えることができました。並木第三小学校のDNAを受け継ぐべく、設計時より校庭や地形をなるべくいかした、開放感にあふれる作りが特徴となっており、ゆったりとしたリハビリガーデンを有する、リハビリテーション専門病院として生まれ変わることができ、患者様からも大変好評です。これからは、地域の皆さまと共に歩んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



院長代行 田邊豊

現在の超高齢者社会では、リハビリテーションの必要性はますます高まることが予想されます。おかげさまで10周年を迎えることができましたが、現状に満足することなく、これまでの脳卒中、骨折に対するリハビリを中心として、そのほかのさまざまな疾患に対するリハビリに対応できるように努めていくつもりです。また、地域の皆様の健康増進に関して一助となるような活動にも携わっていければと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



診療顧問 阿部仁紀

当院は、前身である屏風ヶ浦病院が昭和61年4月に一般的な総合病院として167床で開院しました。その後回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟へと移行する中で総合病院の構造でリハビリ機能を果たしていくのが困難となりました。そこで、構造・機能をリハビリテーションに特化し平成24年9月、並木第三小学校の土地から「横浜なみきりリハビリテーション病院」として新たなスタートを切り、計224床を変える地域有数の病床数を誇るリハビリテーション病院へと成長しました。また昨年には健診センターがオープンしました。これからは誠心誠意努力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

2012

横浜なみきりリハビリテーション病院 開設



横浜並木第三小学校の跡地に
横浜なみきりリハビリテーション病院を建設しました。

1986

屏風浦病院 開設



屏風浦病院は167床
リハビリテーションスタッフも当初は6名ほどでした。

2010

横浜並木第三小学校



2023

現在の雰囲気



横浜なみきりリハビリテーション病院は224床
リハビリテーションスタッフも130名ほど在籍しています。

